

急性大動脈解離

これを読んでくださっている皆さん、元気なあなたが、病気で突然命を落とす事があるとお思いですか？ 今日、明日にも自分の命がなくなるという事は想像できますか？？

あるのです！！ありえるのです、そんな病気が。

若くして、突然命を落とす病気の代表格が“急性大動脈解離”です。典型的な症状は、突然の胸痛や背部痛です。救急車を呼んでしまう程の激痛が生じます。病院に運ばれる方はまだラッキーな方で、不幸にも病院にたどり着く前に、命を落としてしまう方も大勢いる、大変恐ろしい病気であります。また、病院に運ばれ診断されたとしても、非常に致命率の高い病気（助からない可能性も高い）でもあるのです。

原因は不明ですが、発症された多くの方は若くして高血圧を呈しており、ほとんどの方が喫煙者であり、かつ肥満であります。大動脈にかかるストレスが非常に高い事が誘因になっているのではと考えられています。全ての年代の方に起こりうる病気であり、皆さん（皆さんの家族の方）もいくつか思い当たる節はありませんか？

今からでも遅くありません。まずは禁煙から始めましょう。もちろん IQOS(アイコス：電子タバコ)も禁止しましょう。ラーメン、ソースカツ丼などは控え、カロリー摂取過剰や塩分の取りすぎに注意するだけでも十分効果はあります。やれる事から始めてみませんか？

もし、救急室に運ばれて大動脈解離と診断された場合には、今日、明日にでも自分の命がなくなるかもしれないと覚悟してください。できればそうならないように、私たちは懸命に救命致しますが、医療には限界もある事をお忘れなく。

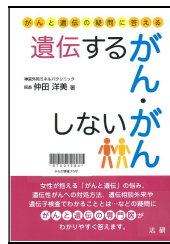


国立病院機構熊本医療センター「くす通信」第161号より

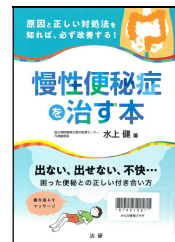
三層構造（内膜、中膜、外膜）である大動脈壁が、内膜に亀裂が入り、中膜のレベルで二層に剥離し、動脈の走行に沿ってある長さをもち2腔になった状態を大動脈解離という。大動脈壁に血流もしくは血腫（血が固まったもの）が存在する動的な状態であり、急性期は破裂や解離の進行により命を落とす可能性が非常に高い。



睡眠のなぜに答える本
大川匡子監修(ライフサイエンス社)
なぜ睡眠が大切なのか、どんな睡眠がいいのか、眠りに悩む方へ快眠の12ポイントを解説しています。



遺伝するがん・しないがん
仲田洋美著(法研)
“がん”は遺伝するのか、しないのか、私たちの疑問をがん専門医がわかりやすく答えてくれる本です。



慢性便秘症を治す本
水上 健著(法研)
「たかが便秘、されと便秘」原因と対処法を知り、スッキリとした毎日を送る生活習慣なども詳しく紹介しています。



“介護後”うつ
安藤和津著(光文社)
「介護うつ」を抱えるすべての介護者に勇氣と知恵を与える1冊です。



一切なりゆき～樹木希林のこぼ～
樹木希林著(文春新書)
樹木希林さんの何事も自然に任せてという生き方や言葉から学べることがたくさんあります。



「死ぬとき幸福な人」に共通する7つのこと
小澤竹俊著(アスコム)
ホスピス医が患者さんから学んだ「ずっと幸せに生きる心得」そのための7つの気づきが紹介されています。

お勧めの一冊

創刊して以来、おそらく30年を経過した「長寿書籍」の月刊誌です。同じタイトルの放送媒体を持つ点で、一般的な健康雑誌とは性質の異なるユニークな書籍です。

ダイエット、高血圧、脳梗塞、腰痛など、各号に共通して、幅広いテーマから目玉となる特集記事が選定されています。書籍全体の構成は、易し過ぎず、かと言って専門的過ぎもせず、まさに「NHK品質」といったところでしょうか。専門的な情報を得る前段階の、雑学としての知識を得るのに適した情報媒体です。

運動や栄養、お薬の話に加え、料理や旅など、日々の活動を充実させたい記事が満載です。カラーで見やすいため、気軽に手に取れる雑誌となっております。



(リハビリテーション部 丹保信人)

【がん相談支援センターからのお知らせ】

毎月1回、総合医療センター3階の患者図書室に於いて、がん患者サロン『あづまっぺ』を開催しています。がんに罹られた方やご家族の方、お茶を飲みながら、一緒にお話ししませんか？

参加予約は不要です。どうぞ、お気軽にご参加ください。

【ミニミニ講演の予定】

◇4月30日(火) 14時～ 自宅でできる簡単体操-足腰を鍛えて筋力アップ-

*場所は「竹田ホール」です。

運動療法指導士 早川 克氏

◇5月28日(火) 14時～ 介護保険のお話し

社会福祉士・精神保健福祉士 小沼冬美氏

◇6月25日(火) 14時～ アロマで癒し

看護研修管理室 金田須美枝氏

がん相談支援センター 古沢しのぶ